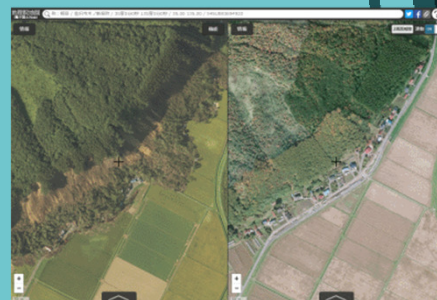


最新の観測と防災知識によって、 大地震に備える

第1部 講演概要

2018年には、既に、6月の大阪府北部の地震、9月の北海道胆振東部地震などの地震が発生し、被害がもたらされています。さらに、首都圏での大地震、南海トラフの巨大地震なども高い確率で発生することが予想されています。一方、昨年9月、これまで実施されてきた東海地域での地震予知に基づく応急的な地震防災対策は難しいという中央防災会議のワーキンググループからの報告が行われました。観測に基づく地震発生の予測の仕組みと、防災情報の活用方法について講演いたします。



出典(上2点とも):
国土地理院ウェブサイト
(北海道厚真町吉野9月6日撮影)

講師

ひらた なおし
平田直 氏

東京大学地震研究所教授・地震予知研究センター長
一般社団法人 防災教育普及協会会長

主な取り組み

観測地震学、地震防災、防災教育に関する研究・教育と実践を行っている。

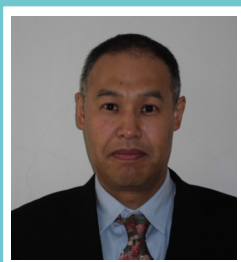
また、地震調査研究推進本部・地震調査委員会委員長、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会会長など、国の地震防災行政にも参加している。

平成29年度防災功労者内閣総理大臣表彰 受賞



第2部

西日本豪雨災害に係る岡山県支援派遣活動の報告



生産技術科
服部 幸一 副技幹

開催日時：
平成30年12月12日（水）13：00～14：30
場 所：
神奈川県立産業技術短期大学校 4階 大教室



神奈川県立産業技術短期大学校
〒241-0815 横浜市旭区中尾2-4-1
電話 045-363-1233 FAX 045-392-1971
URL <http://www.kanagawa-cit.ac.jp>